

平成 29 年 7 月 7 日

照会先

厚生労働省大臣官房厚生科学課

健康危機管理・災害対策室

(担当・内線) 室長 日野 力 (3814)

室長補佐 平井 智章 (3844)

(電話・代表) 03 (5253) 1111

(電話・直通) 03 (3595) 2172

福岡県・大分県等の大雨について

7 月 7 日 12 時 00 分時点における厚生労働省の対応については、別紙のとおりですのでお知らせします。

福岡県・大分県等の大雨について（第13報）

1 厚生労働省における対応

- 07/06 07:00 厚生労働省災害対策本部設置
 10:20 厚生労働省災害対策本部第1回会合開催

- 馬場大臣政務官の政府調査団派遣
 - ・ 7/7、内閣府松本副大臣を長とする政府調査団に馬場大臣政務官、九州厚生局長ほか1名を派遣。

- 職員の現地等への派遣状況
 - ・ 7/6、厚生労働省職員を大分県に1名、福岡県に4名派遣。この他、現地の厚生局・労働局からも大分県庁へ2名、福岡県庁へ4名を派遣。
 - ・ 福岡県東峰村の特別養護老人ホーム宝珠の郷へ日田労働基準監督署から職員を2名派遣。
 - ・ 7/7、特別養護老人ホーム清和園へ本省職員を派遣予定。

2 医療関係

(1) 医療施設（精神科病院を除く）の被害状況

① 病院、有床診療所

- ・ 福岡県・避難指示又は避難勧告が出た9市町村に所在する全ての医療施設（病院64、診療所86）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。（朝倉市の1透析診療所が断水しており、近隣施設で対応中。）
7月7日6時30分時点で新たに避難指示又は避難勧告が出た2市1町に所在する全ての医療施設と連絡をとり、被害状況を確認中。
- ・ 大分県・避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての医療施設（病院41、診療所56）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・ 熊本県・避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての医

療施設と連絡をとり、被害状況を確認中。

・ 山口県 ・ 避難指示又は避難勧告が出た2市に所在する全ての医療施設と連絡をとり、被害状況を確認中。

・ 佐賀県 ・ 避難勧告の出た1町に所在する全ての医療施設（病院3、診療所2）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

② 無床診療所 福岡県、大分県と連携して引き続き情報収集に努める。

・ 福岡県 ・ 断水 2箇所（朝倉市）。診療不可。

床上浸水 1箇所（朝倉市）。医療機器損傷で診療不可。

床下浸水 1箇所（朝倉市）。泥の堆積のため診療不可。

・ 大分県 ・ 現時点で被害報告無し。

(2) D M A T の状況

D M A T 計9隊が医療活動を実施中。

・ 福岡県内の D M A T 2 隊が福岡県災害対策本部（D M A T 調整本部）で活動中。

・ 福岡県内の D M A T 3 隊を朝倉市災害対策本部に派遣。活動中。

・ 福岡県内の D M A T 1 隊を朝倉市甘木公園に派遣。避難させる住民のうち治療の必要がある住民を朝倉医師会病院へ搬送させる活動に従事。

・ 福岡県内の D M A T 3 隊を朝倉医師会病院支援のために派遣。

・ 引き続き災害拠点病院（福岡県30病院、大分県13病院）に対していつでも派遣できるよう準備を依頼。

3 心のケア・精神科病院関係・障害児者支援関係

(1) 精神科病院等の被害状況

①福岡県

精神科病院等については、現時点で被害報告無し。

②大分県

現時点で被害報告なし。引き続き情報収集に努める。

(2) D P A T の状況

①福岡県

2 隊（太宰府病院、福岡県精神保健福祉センターチーム）が待機中。

②大分県

1 隊（大分大学病院）が待機中。

4 生活衛生・食品安全関係

(1) 水道の被害状況

福岡県、大分県内の市町村に対し水道の被害状況について情報収集を実施。また、日本水道協会に対し、被害情報について情報共有を図ることとし、それに基づいた応急給水・応急復旧の支援を行うよう依頼。

①断水の状況 (7/7 12:00現在)

○福岡県2市村で2,308戸、大分県1市で471戸が断水。(前回報告比△44戸)

※ 被害報告のあった地域を記載

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【福岡県】 添田町 (そえだまち)	167戸	0戸	7/6～	管路破損による断水 (復旧済み)
朝倉市 (あさくらし)	1,654戸	1,654戸	7/6～	杷木(はき)浄水場の 浸水被害により断水
東峰村 (とうほうむら)	654戸	654戸	7/6～	浄水場に土砂流入及び 管路破損により断水
小計	2,475戸	2,308戸		
【大分県】 日田市 (ひたし)	512戸	471戸	7/6～	取水施設水没及び配水 管破損による断水
小計	542戸	512戸		
合計	3,027戸	2,779戸		

※ 大分県玖珠町、熊本県南阿蘇村・南小国町については7月6日に、それぞれ断水解消。
なお、表中の最大断水戸数はこれらの市町村での断水戸数を含む値である。

②応急給水の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、北九州市からの給水車2台、福岡市からの給水車1台及び久留米市から給水車1台が応急給水対応中。
- ・東峰村は、自衛隊の給水車が小石原(こいしわら)庁舎に10台、宝珠山(ほうしゅやま)庁舎に11台で応急給水対応中。また、自衛隊による孤立地域への道路のガレキ撤去が完了後、給水車が向かう予定。一部地域で自衛隊から給水袋配布により応急給水対応中。

【大分県】

- ・日田市は、自衛隊の給水車2台が応急給水対応中。

③応急復旧の状況

【福岡県】

- ・ 添田町は、取水施設が水没し代替機にて応急復旧済み。
- ・ 朝倉市は、浄水場への道路のガレキ撤去の後、現地調査を行う予定。
- ・ 東峰村は、現在応急給水に注力しているため、応急復旧の対応未定。

【大分県】

- ・ 日田市の日ノ本簡易水道について、復旧済み。山田簡易水道について、7/7夕方復旧見込み。他の3簡易水道についての復旧は検討中。

5 社会福祉施設等関係

厚生労働省本省より直接連絡をとるなどにより確認。引き続き情報収集に努める。

(1) 高齢者関係施設の被害状況

福岡県朝倉市の特別養護老人ホームきらく荘において、一時床上浸水したが、既に復旧済み。サービス提供に影響なし。

また、福岡県東峰村の特別養護老人ホーム2施設（宝珠の郷・清和園）については、一時孤立していたが、6日朝に自衛隊が到着し、支援活動を実施。物的・人的被害はないが、断水・停電している状況。

日田市の2施設（デイサービスセンター鳩友園、小野地区老人憩いの家）については、一時孤立していたが、自衛隊等ヘリにより避難所等へ全員搬送済。

その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより確認を行い、被害報告無し。

(2) 障害児・者関係施設の被害状況

大分県日田市で2施設において床下浸水の被害あり。人的被害はなし。その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより確認を行い、被害報告無し。

(3) 児童関係施設等の被害状況

大分県日田市の保育所等4施設、中津市の保育所1施設で床上や床下浸水などの被害あり。人的被害はなし。その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより施設に確認を行い、現時点で被害報告無し。

(4) 関係団体への協力要請

一般社団法人日本介護支援専門員協会及び公益社団法人日本介護福祉士会に対し、避難所での活動等について協力を要請。

6 職業能力開発施設関係

(1) 職業能力開発施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

7 保健・衛生関係

(1) 人工透析

福岡県朝倉市の1透析医療施設で断水しており、給水量の関係で、同施設の入院患者には自施設で透析を実施。外来患者は、近隣医療施設で透析を受療。引き続き情報収集に努める。(各県の透析医療施設数は、福岡県に215、大分県に73)

(2) 被災者の健康管理

① 保健師の活動

<福岡県>

○ 朝倉市（常勤保健師数15人）

避難所15か所開設。市の保健師が状況確認中。

- ・ 7日（金）から市保健師に加え、県保健師（3チーム）が支援に入り、避難所を巡回予定。

○ 東峰村（常勤保健師数2人）

- ・ 7日（金）から、村保健師に加え、県保健師2名が小石原地区に支援に入り避難所を巡回予定。

⇒ 朝倉市、東峰村の避難長期化に備え、県内市町村に対して、保健師派遣の可否については福岡県で確認中。

- 久留米市、うきは市、嘉麻市、添田町、小郡市、大牟田市、八女市、みやま市、柳川市、筑後市、大木町、川崎町、上毛町、筑前町、大刀洗町は市町村の保健師で対応可能。

○ 北九州市（保健師数163人）

- ・ 避難所開設。現時点では市保健師で対応可能。

<大分県>

○ 中津市

- ・ 6日（木）に、市保健師に加え、県保健師2名が避難所9か所を巡回。

- ・ 本日自主避難先にも巡回予定であったが、雨が激しいため、保留。

○ 日田市

- ・ 県の保健師4名派遣。

- ・ 6日（木）に、市保健師に加え、県保健師1名が避難所2か所を巡回。

- ・ 避難所では健康相談（夜眠れない等）について対応。

<熊本県>

- 全市町村で被害状況なし。保健師対応なし。

<山口県>

○ 下関市

- ・ 朝8時の時点で、避難所4か所開設。市保健師で対応可能。

- ② 「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」を福岡県庁と大分県庁にメールで送付。

(3) その他

- ① 保健衛生施設の被害状況

<熊本県>

- 市町村保健センターにおいて、雨漏り被害の報告が4件あり。

<福岡県・大分県>

- 現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

- ② 感染症指定医療機関、病原体管理施設の被害状況

- 現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

8 医薬品・医療機器関係

(1) 医薬品卸売販売業・医療機器販売業関係

業界団体に確認したところ、現時点では医薬品・医療機器等の安定供給等に係る被害はない。

(2) 輸血用血液製剤

日本赤十字社に確認したところ、現時点では輸血用血液製剤の安定供給等に係る被害はない。なお、九州ブロック管内において採血された献血血液を、輸血用血液製剤を製造する九州ブロック血液センター（福岡県久留米市）に搬送するに当たり、高速道路の通行止めにより、通常よりも搬送時間を要する可能性あり。

(3) 薬局

【福岡県】

- ・ 床下浸水等の報告が9件（朝倉市8件、大牟田市1件）あり。うち1件（朝倉市）は営業できていない。

【大分県】

- ・ 現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。
- ・ 大分県薬剤師会の災害対策医薬品供給車両が日田市内の避難所を巡回して

お薬相談等を実施中。

(4) 毒物劇物製造（輸入）業における毒物劇物取扱施設関係

現時点で毒物劇物の流出等の被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

9 労働関係

(1) 労働災害発生状況

現時点で労働災害発生の情報なし（福岡局、大分局）。引き続き情報収集に努める。

(2) 事業場の被災状況

以下のほか、現時点で被害情報なし。引き続き情報収集に努める。

【福岡県】

（田川郡）福太郎 英彦山工場は工場設備の被害はないが、従業員が通勤で利用している道路が冠水等により通行止めのため休業。

（京都郡苅田町）日産自動車九州株式会社は通常通り操業中。

（久留米市）ダイハツ九州は7/6休業。

（朝倉市）ネクスト朝倉工場（木材加工）のボイラー冠水。10日ほど停止。明石機械工業（自動車部品製造）は7/6自宅待機

（うきは市）日本精工九州（精密部品製造）は工場浸水、装置に落雷。

【大分県】

（中津市）ダイハツ九州は7/6休業。

（日田市）キャノン、TDKは一部職員に休みはあるが、操業・物流に影響なし。

（玖珠町・九重町）ホテルのキャンセルや遅配等あるが大きな影響なし。

(3) 労災保険関係

7月6日付 今回の大雨による被害により、労災保険給付請求書における事業主証明や医療機関の証明が受けられなくとも請求書を受理するよう、都道府県労働局に指示。

10 雇用関係

(1) 雇用保険

① 特例的な失業給付の支給

7月5日の福岡県朝倉市・朝倉郡東峰村、大分県日田市・中津市の災害救助法の適用を受け、災害の影響を受けて事業所が休業する場合に一時的な離職を余儀なくされた方に対して雇用保険失業等給付（基本手当）を支給する特別措置を実施。

1 1 医療保険関係

- 7月6日付 各都道府県等に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料（税）・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知
※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。
- 7月6日付 被災に伴い被災者が被保険者証を保険医療機関に提示できない場合においても、受診が可能である旨を都道府県等に連絡

1 2 介護保険関係

- 被災した要介護高齢者等への対応について
7月6日付で、福岡県（管内市町村も含む。）及び大分県（管内市町村も含む。）に対して、今般の大雨により被災した要介護高齢者等について、特別な対応（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができることや、介護保険施設等で災害等による定員超過利用が認められていることなど）について周知し、特段の配慮を要請。また、福岡県及び大分県宛発出文書について、各都道府県に対して、周知。

1 3 障害者福祉関係

- 7月6日付で、福岡県及び大分県に対して、被災した要援護障害者等について、市町村より特段の配慮（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができるなど）をお願いするとともに、被災した視聴覚障害者等への避難所等における情報・コミュニケーション支援について、具体的な方法や配慮等の例を周知。

1 4 年金関係

- 7月6日付 各市町村等に対して、災害により被災した被保険者に係る国民年金保険料の免除を行うことができる旨を周知。

1 5 災害ボランティア関係

（1）福岡県

福岡県社会福祉協議会が被災市町村に職員を派遣し、被害状況等を確認するとともに、災害ボランティアセンターの設置を検討中。

（2）大分県

大分県社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月6日）。

* 現在、被災市町村の社会福祉協議会が中心となって、被害状況やニーズ調査等を行っており、その後必要に応じてボランティア募集を決定する。

(3) 厚生労働省及び全国社会福祉協議会

被災地に職員を派遣し、県社会福祉協議会と被害状況等を確認するとともに、災害ボランティアセンターの設置及び運営を支援。

以上